

Rich ~ピチヤリ~

七飯町歴史館だより
第15号

ななえ古写真物語

VOL. 15

角積学校

～露式建築の七重小学校～

明治13年ころ

現 本町 地域センター向かい付近



七飯町にある小学校の中で、最も歴史が古いのは七重小学校で、その始まりは明治10年9月15日、「七重学校」として、2つの教室と2名の教師、39名の生徒でスタートしました。それ以前の教育は、寺の住職や村の老人などが子供を集め、手習いを教えていたといいますが、明治5年に文部省によって学制が發布され、全国的に学校建設が進む中、北海道はなかなか学校設置への気運に至らなかったようです。そういった状況の中、当時、七重勸業試験場（開拓使の農業試験場）の場長だった湯地定基が場員と協力して寄付金をまとめ、村民に学校教育の重要性を説き、村人からの寄付金と開拓使の補助金を合わせ、学校建設へとこぎつけたといえます。

現在、七重小学校が「七飯」ではなく「七重」という漢字で標記されるのを不思議に思う方もいるかと思いますが、その理由は、開校した明治10年のななえは、まだ七重村（七飯村となったのは明治12年から）と称していたからで、校名からも、歴史の古さをうかがうことができるのです。

七重小学校はその後、幾度かの移転・校舎新築を経て現在に至っています。

さて、前述の経緯で開校した七重小学校ですが、明治13年に一風変わった校舎に新築されます。それが上の写真にある通称「角積学校」と呼ばれるもので、函館支庁から1,700円、七重村民からの寄付400円、そして開拓使長官だった黒田清隆による300円の寄付の合計2,400円で建築されました。特に、黒田清隆は学校制度の改革を考え、明治12年に七重学校をモデルスクールとしたこともあり、この角積学校建設に対する熱意が大きかったようです。

こうして出来上がった新しい七重学校は、できるだけ華美にならないよう質朴なつくりにし、壁には、椽の角材を積み上げ、防寒と堅牢を目的に天井と床には土砂を30cmほどを積み、建物中央にはペチカと呼ばれる暖房装置を設け、そこから、各教室に熱気が通うように穴をつくったといえます。こういったロシア式建築による学校は七重と札幌、根室の3カ所に作られたようで（いずれも、開拓使の試験農場である官園の設置された場所）、当時としては珍しい校舎だったといえます。

現在、七重小学校にその面影はありませんが、卒業式シーズンのこの時期、少し学校の歴史を語りたくなった一枚でした。

4日

夜の博物館後期講座の第3回目「記されたななえ」が開催されました。この日は、江戸から明治時代に記された紀行文に当時の七飯町がどのように描かれているかを読みながら、著者の略歴も紹介。よく読むと、今ではあまりみることが出来なくなった植物についての記載もあり、中々興味深い内容だったようです。



スライドを見ながらの講座でした。

夜遅くまで、熱心に受講された皆さん、ご苦労さまでした。

4月の予定

1	水
2	木
3	金
4	土
5	日
6	月
7	火
8	水
9	木
10	金
11	土
12	日
13	月
14	火
15	水
16	木
17	金
18	土 収蔵展 OPEN予定
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木
24	金
25	土 ジュニア探検クラブ
26	日 ふぁみりーでいみゅーじあむ
27	月
28	火
29	水
30	木

4月の休館日はありません。

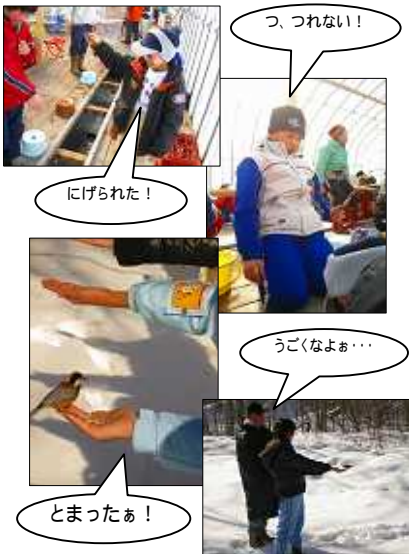
パネル展開催中!

ただいま、企画展示室で、町内8校の小学校児童が、平成20年度に取り組んだ総合学習の成果を26日まで展示していますので、子供ならではの自由な発想と表現力を楽しんでください。(Y)



21日

ジュニア探検クラブで、「冬の大沼探検」と題し、ワカサギ釣りとおオワシ探しにでかけました。途中、上空を飛ぶオジロワシに出会いながら、じゅんさい沼へ到着。氷上は風が強かったため、係の方の配慮で、ハウス内でのワカサギ釣りとなりました。釣れなかった子もいましたが釣ったワカサギはフライにして試食!午後からは、オオワシ探し・・・でしたが、タイミングが悪かったのか、残念ながらオオワシには出会えませんでした。来年こそは!オオワシにも会おうぞ!



22日

この日は、ふぁみりーでいみゅーじあむで、貝合わせつくり挑戦しました。貝合わせは、貝殻の内側に絵を描くもので、雛人形の嫁入り道具にも登場することがあるので、雛がざりの一環として取り入れてみたのですが、「貝合わせ」という存在があまり知られていなかったようで参加者はやや少なめでした。まずは、お雛祭りに関する絵本の読み聞かせをし、いよいよ貝殻の裏に絵を描きます。幸い、皆さん上手に描いており、ホッと胸をなでおろした一日でした。



編集後記 ~tawagoto~

今年度もあっという間に過ぎてしまった。振り返ってみると、事業や原稿に追われた1年だった気がする・・・。そんな中、町内の小学校5・6年生を対象にしたジュニア探検クラブという事業が最終講座を終えた。参加した児童たちは、この春から中学校へ進学したり、小学校最高学年になる。この場を借りて「ご苦労様でした!」と言いたい。しかし・・・自分も歳をとっているのだと痛感させられるのはなぜなのだろう・・・。(やまだひさし)

Richard ~ピチャリ~ 第15号

平成21年3月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp